

事業No.	3	事業名	社会福祉協議会の結婚相談業務の事業充実 (少子化対策検討プロジェクト)		担当課	子ども支援課	
<b>仕分け結果</b>							
廃止		民営化	1	市(要改善)	4	市(現行どおり)	1
<b>主な意見(委員)</b>							
<p><b>【民営化】— 少数意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会への段階的移譲が望ましい。一方、本件を機に、社会福祉協議会と重複している事業や非効率となっている事業はないか等を見直し、その余剰から費用を捻出すべきではないかと思う。場所の提供のみでも良いのではないか。</li> <li>・少子化対策検討プロジェクトそのものの検証・評価を行ってはどうか。</li> </ul> <p><b>【市(要改善)】— 多数意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、成婚率が低いが、仮に会員が増えれば市の支出も増加してしまうため、登録年数の上限等を設けてはどうか。今後、従来どおりに市の事業として実施していくのは難しいように思える。</li> <li>・イベント数の増加については、「仲良しクラブ」化とならないよう、参加者の入替等に配慮すべき。</li> <li>・結婚支援環境は我孫子市の少子高齢化対策として必要な事業だと考える。相談員(経験者)の充実は今後の課題である。</li> <li>・民生委員との関係等で、社会福祉協議会の役割は大きい。結婚したい人たちのために環境づくりはあった方がよい。</li> <li>・社会福祉協議会と市の目的が合っていない。継続するのであれば、例えば悩み相談等、市の目的に合ったものにすべき。</li> <li>・補助金を出している市が影響力を行使して、少しでも少子化対策に寄与できれば良いと思う。一定の効果は出ている。</li> </ul> <p><b>【市(現行どおり)】— 少数意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成婚数を見てもそれなりの成果は出ていると思う。</li> <li>・事業主体が市か社会福祉協議会かは問わないが、市としての考え方や方針が反映されるよう、将来的な運営も含めて十分に検討を進めてほしい(登録数の目標値や今後の見通し等、社会福祉協議会との擦り合わせを密に行う)。</li> <li>・我孫子市ならではの「切れ目のない支援」の一環として、今後も継続していくべき事業である。</li> </ul> <p><b>【参考意見(当日出席できなかった委員)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市外登録者が多いのであれば、近隣市と協同で進めていくことで経費が抑えられ、相談業務の質も確保できるのではないか。</li> <li>・手数料については市内と市外で差別化を図ることも一つだが、会員数も増えてきていることから、本事業は継続して実施すべき。</li> <li>・結婚相談事業自体の意義は理解できるし、一定の成果も期待できると思う。あとは、本事業が少子化対策にどの程度関連性と効果があるのか、少子化対策として市民が求めているものや少子化対策に関わる他の施策との比較検討も必要となるかもしれない。</li> </ul>							
<b>傍聴者の意見</b>							
<p><b>【発言】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚支援を経て定住化を促進するのは大きな目標だと思うが、成婚率等の数値を見る限り、あまり成果が出ておらず、市の事業として合わないのではないかと。今後事業展開について見直しが必要だと思う。</li> <li>・事業継続は良いが貴重な場所で何故やらなければならないのか。無駄に場所を使っているのではないかと。</li> </ul> <p><b>【アンケート】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の事業に馴染まないという意見も多く同感である。成婚者のうち定住化率が50%以上となるのが、事業継続可否の目安となるのではないかと。</li> <li>・登録者に市外の人が多いという理由から、市の事業として取り組む必要性について疑問を持った。登録者を増やす目的だとしても、市内と市外登録料の差を付けた方が良いと思う。</li> </ul>							
<b>担当課および市の対応方針・具体的検討内容</b>							
担当課対応方針	具体的検討内容						
市(要改善)	<p>相談員によるきめ細やかな対応、イベントの定期開催、結婚相談所の立地等により、リニューアルオープン後の実績(会員数・相談件数・お見合い件数・成婚数)は上向きです。</p> <p>婚活イベントでは、応募数が定員を超えた場合は抽選となりますが、市内の方で初めて申し込む方を優先するなどの配慮をしています。</p> <p>会員の条件は、社協が長年社会福祉の目的から、年齢・性別・障害・国籍等区別することなく広く結婚を望む方のための結婚相談所の運営を行ってきたことから、今後も独身であること以外の条件を設けずに広く会員を募集するものとします。</p> <p>そこで、市の目的である少子化対策としての結果を更に出すために、引き続き社協と連絡を密に取り合い共通認識のもと事業を執行していきます。事業に係わる経費は、市の事業であるため、国の少子化対策補助金の対象となります。今後も財源確保に努めていきます。</p> <p>若い世代を支援する事業は、市に活気をもたらす、市が結婚の前段階から支援することで、様々な子育て支援策をPRすると共に、切れ目のない支援を構築することができます。また、市内でイベントを開催することによって当市の魅力を伝える機会ともなり、市外の登録者も我孫子を知ることで将来の住まいの選択肢に我孫子が入ることを期待します。さらに、婚活を応援する市内事業者の発掘など、結婚支援の機運を市全体で高められるような工夫を模索していきます。</p>						
市の対応方針	具体的検討内容						
市(要改善)	担当課対応方針のとおりです。さらに、市内・市外登録者の会費等に差をつけることについても検討いたします。						